

2024年3月期

第3四半期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

2024年2月9日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

I. 事業概要



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業概要



➡➡ 4つのセグメントで事業を運営

デジタルイノベーション

- 人財育成コンサルティング
 - 人財育成事業
 - IT技術の学習プラットフォーム (Learning Booster)
- セキュリティ
 - 内部脅威対策
セキュリティ事業
- DX開発
 - ThirdAI (サードアイ) を始めとするAI事業
 - ソフトウェア開発事業

ICT

- システム構築
 - ICTシステムの設計・構築事業
- システム運用
 - ICTシステムの運用・保守事業
 - リモート運用サービス (Kyrios/キリオス)

ライフサイエンス

- 医療機器事業
- 化学分析機器事業
- ライフサイエンスICT事業

その他 (海外)

- 海外事業
- グローバルIT人財マッチングサービス「Reinforce HR」

※2024年3月期より新事業セグメントへ変更



主なサービス概要



▶▶ JTPの代表的なサービスとターゲット・KPI

	対象 セグメント	サービス 概要	ターゲット 顧客	サービス KPI
LearningBooster (ラーニングブースター)  Learning Booster	デジタルイノベーション <ul style="list-style-type: none"> 人財育成コンサルティング 	IT未経験者向け ITラーニング プラットフォーム	IT系派遣会社 (非IT業界からIT業界 で活躍を目指す 人財向け)	利用者数 2027年3月末に3万人の 利用登録を目指す
Kyrios (キリオス)  Kyrios	ICT <ul style="list-style-type: none"> システム運用 	クラウド環境向け トータルサポート サービス	クラウド環境を利用す るあらゆる企業 (特に中堅企業へ 注力)	売上比率 システム運用事業の 売上高のうちKyriosの売 上高比率を50%以上に
ReinforceHR (レインフォースエイチアール) 	その他 (海外) <ul style="list-style-type: none"> 海外事業 	グローバル IT人財紹介サービス	IT人材不足に悩む 企業規模問わず 国内企業全般	※現時点では未設定
ThirdAI (サードアイ) 生成AIソリューション 	デジタルイノベーション <ul style="list-style-type: none"> DX開発 	生成AI 導入サービス	デジタルトランス フォーメーションを 目指す 国内大手企業	※現時点では未設定

売上高構成比



その他（海外）

売上高構成比 **0.0%**

デジタルイノベーション

売上高構成比 **21.6%**

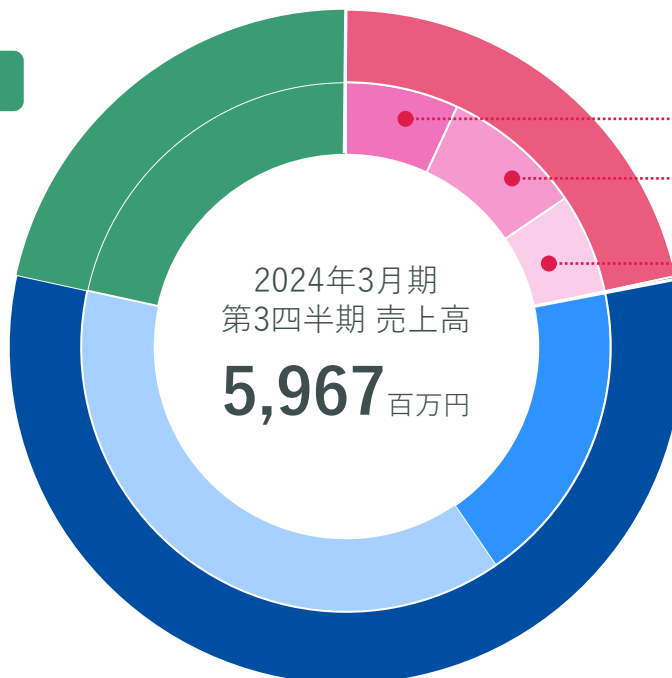
ライフサイエンス

売上高構成比 **21.6%**

ICT

売上高構成比 **56.8%**

■ システム運用 ■ システム構築



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更



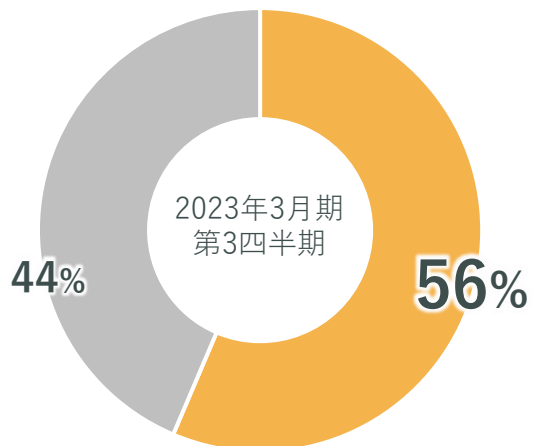
ストック型・フロー型ビジネス



ビジネスモデル別構成比

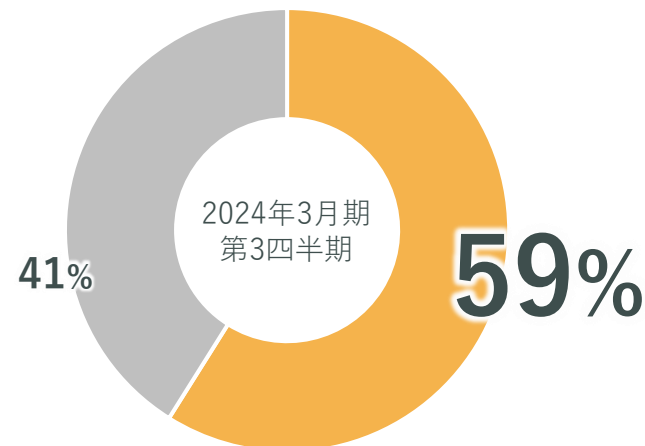
■ ストック

■ フロー



■ ストック

■ フロー



An aerial view of a city, likely Tokyo, with a dense urban landscape and a large green park in the foreground. The image is overlaid with various digital data visualizations, including charts, graphs, and a globe, all in shades of blue and white. The background is split diagonally, with the city view on the left and a white background on the right.

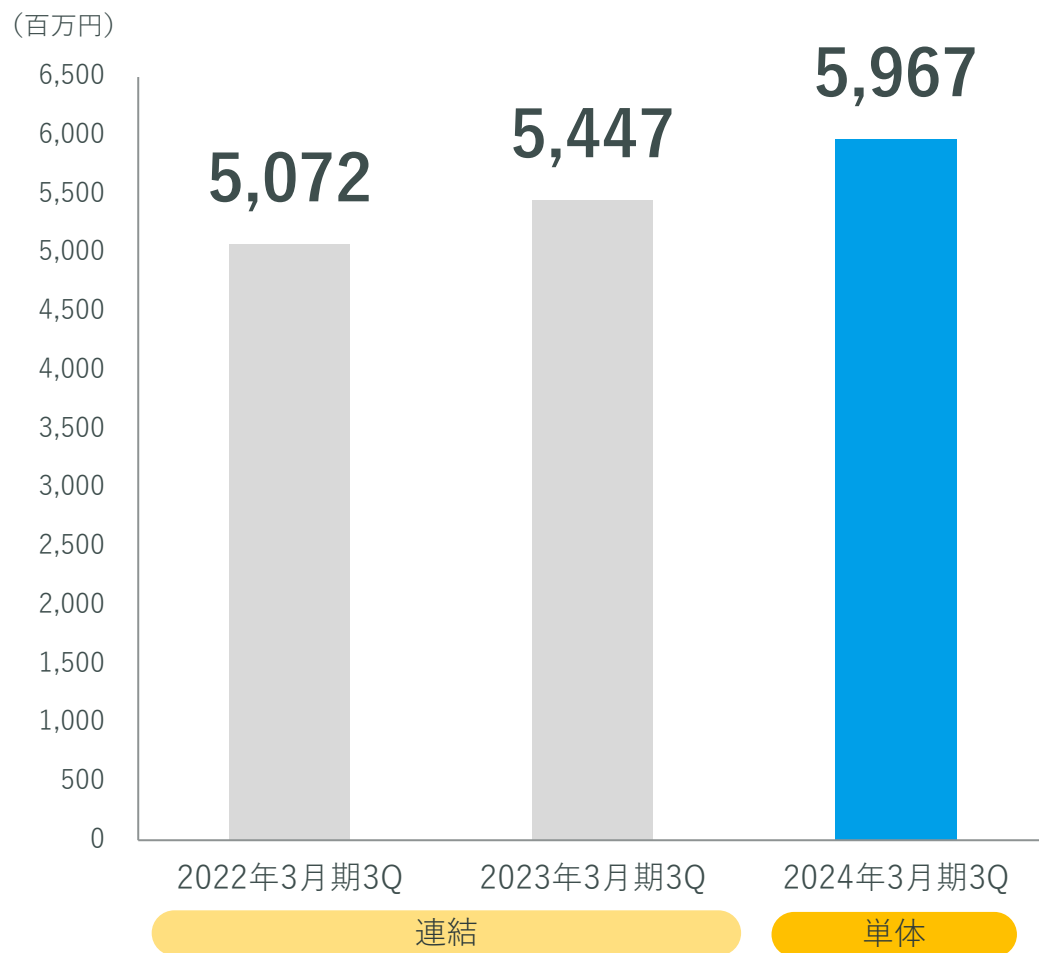
II. 2024年3月期 第3四半期 決算実績

2024年3月期 第3四半期 決算のポイント



- ✓ システム構築などのフロー型ビジネスが復調
- ✓ Kyrios、Third AIなどのストック型ビジネス伸長し、増収増益
- ✓ 既存事業の単価見直しが、収益改善に寄与
- ✓ 世界的な景気の下振れや、国内の物価上昇、金融資本市場の変動等の懸念を排除できないため、通期業績予想については据え置き

売上高

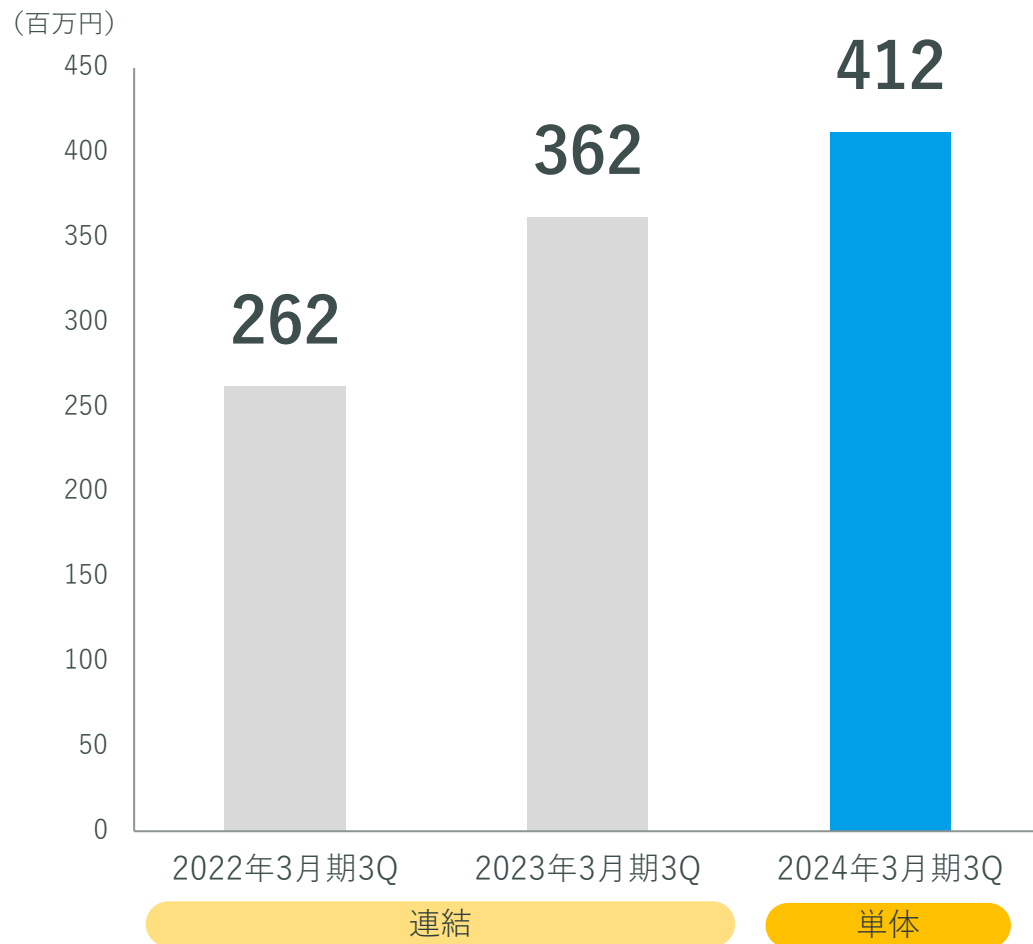


9.6%増収

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



営業利益

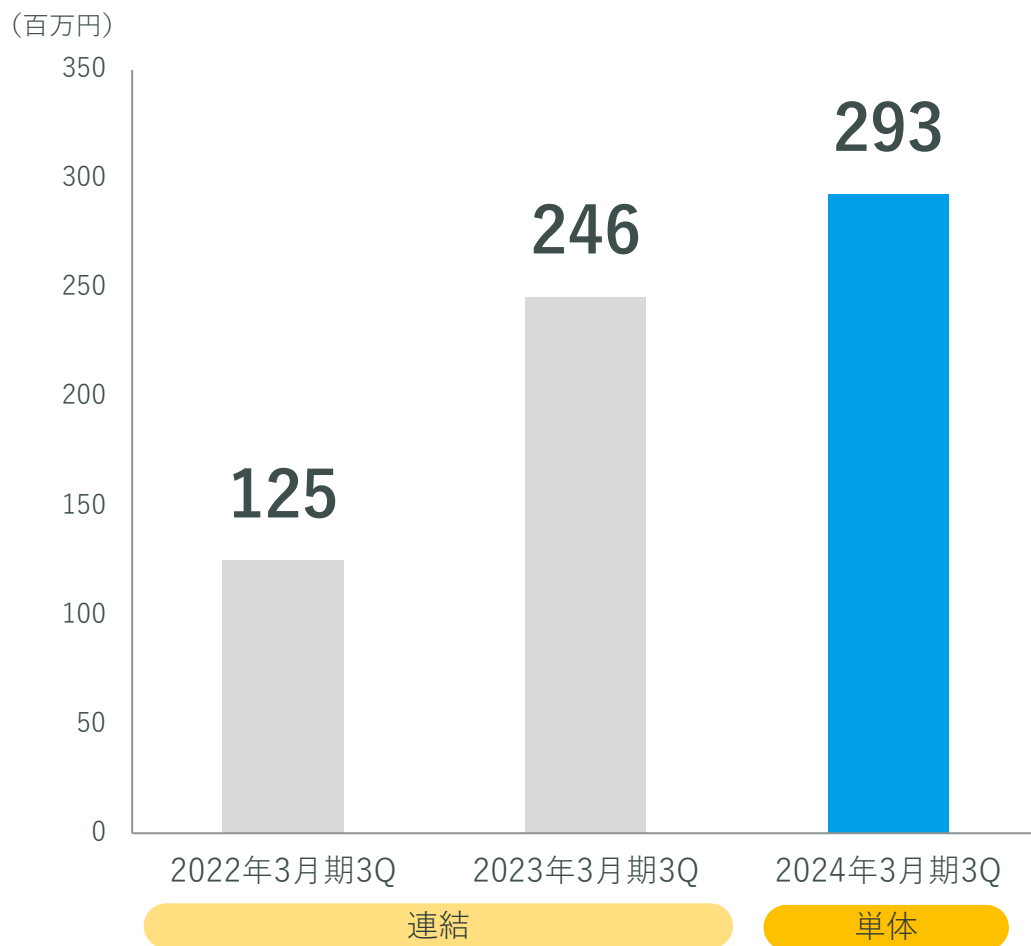


14.0%増益

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



四半期純利益



18.9%増益

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



2024年3月期 第3四半期 決算概要



各事業においてストック型ビジネスへの転換が進んだことに伴い、
過年度に比べて好調な進捗率で推移

	2023年3月期		2024年3月期		
	第3四半期		第3四半期		通期
	実績 【連結】	実績 【単体】	前年同期比 (%)	業績予想 【単体】	進捗率 (%)
(単位：百万円)					
売上高	5,447	5,967	109.6%	7,750	77.0%
営業利益	362	412	114.0%	—	—
経常利益	370	424	114.7%	550	77.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	246	293	118.9%	358	82.0%

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



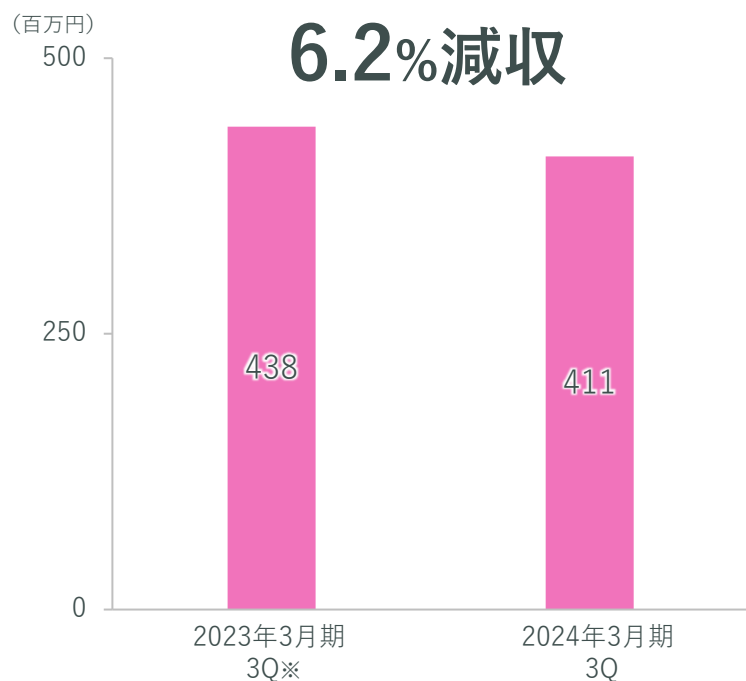
セグメント別業績推移



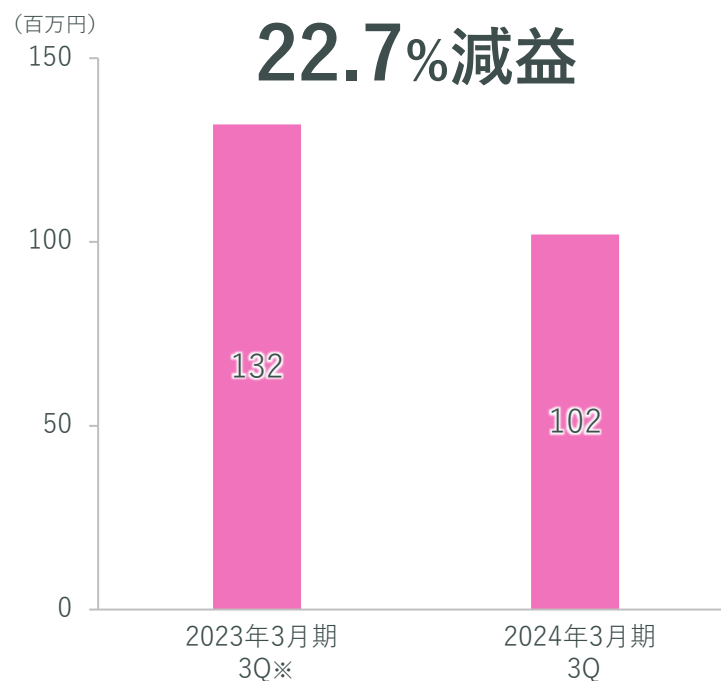
デジタルイノベーション 人財育成ソリューション

- IT技術の学習プラットフォーム（Learning Booster）開発投資継続
- ベンダー教育は減少傾向

売上高



営業利益



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値

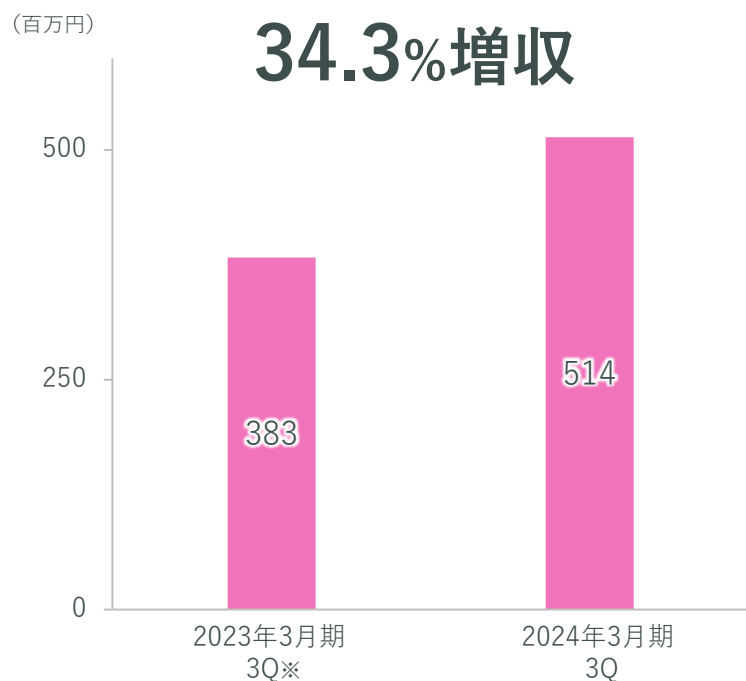
セグメント別業績推移



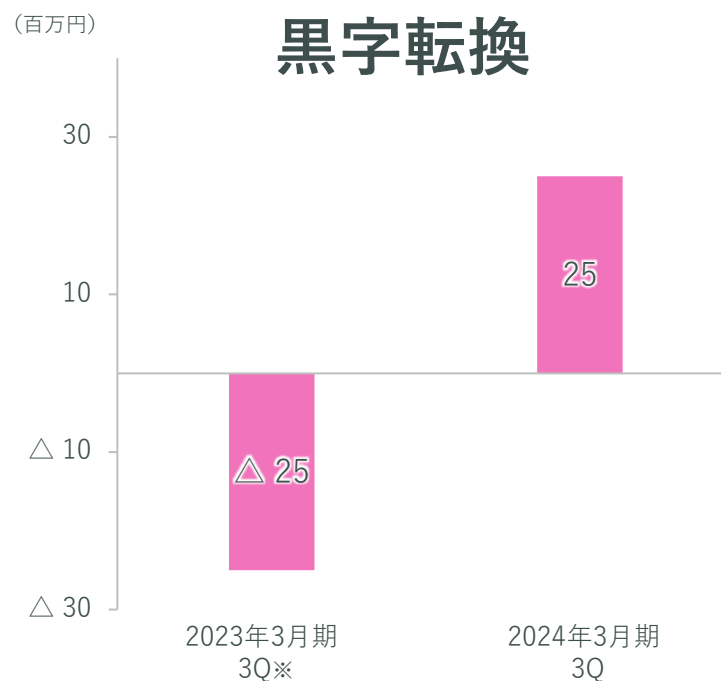
デジタルイノベーション セキュリティ

- 情報漏洩事案を背景に内部脅威対策関連サービス（構築・監視・運用・教育）が拡大

売上高



営業利益



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値

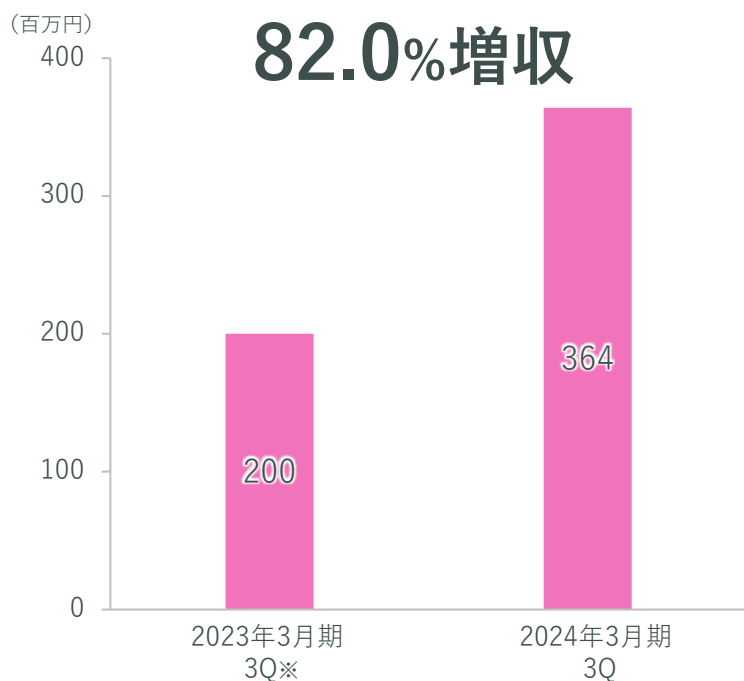
セグメント別業績推移



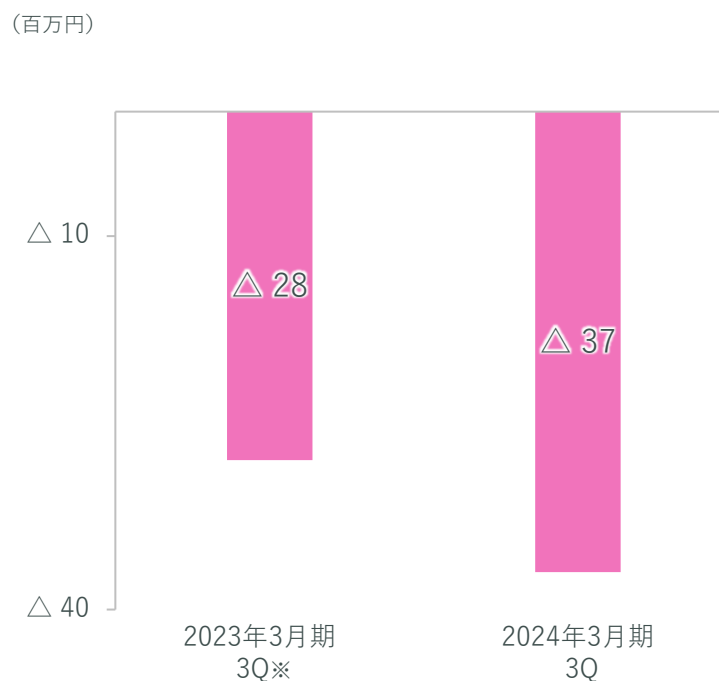
デジタルイノベーション DX開発

- 大型DX開発案件の受注による増収
- 自社サービス（Third AI/生成AIソリューション）開発投資は継続、受注環境は活況

売上高



営業利益



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値

セグメント別業績推移

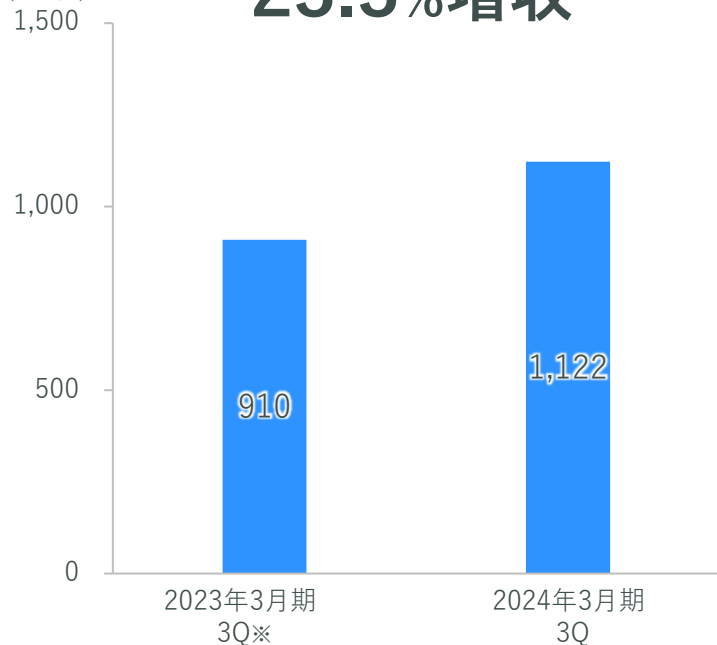


ICT システム構築

- 受注環境が整ったため、エンジニアの稼働率も上がり、増収減益

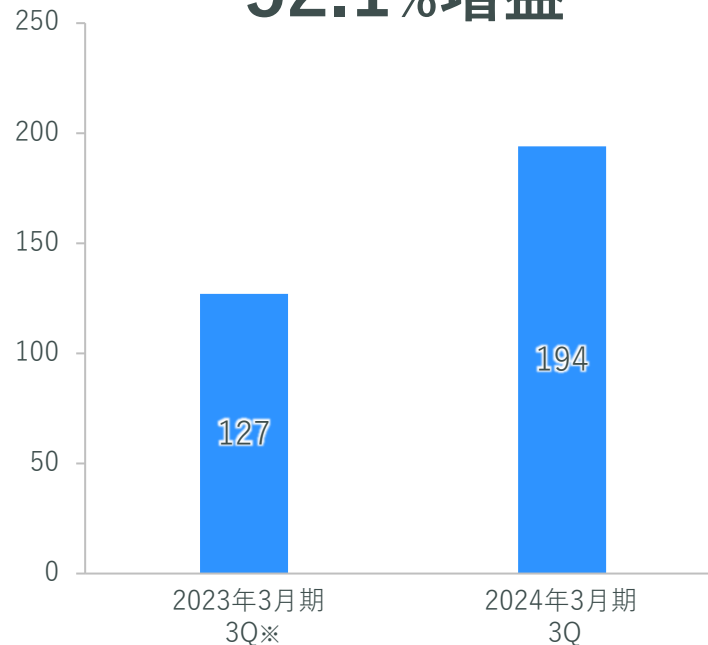
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値

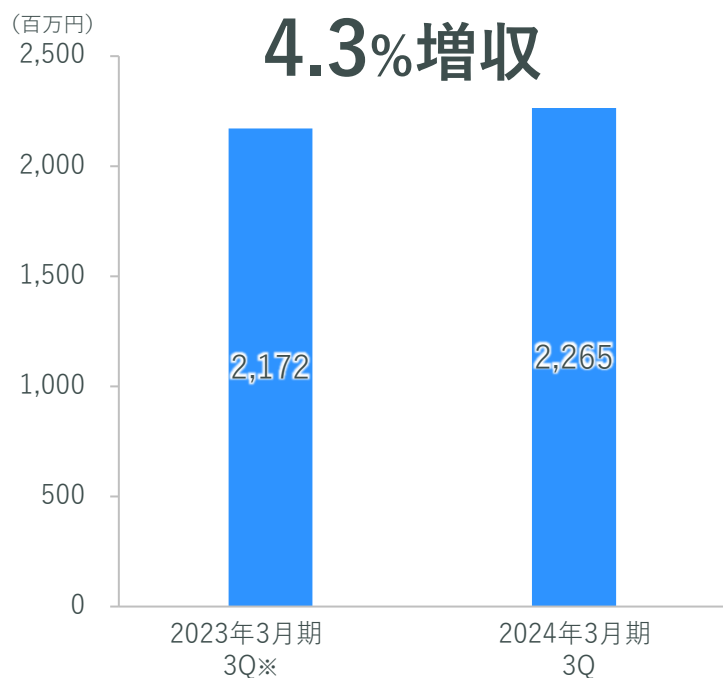
セグメント別業績推移



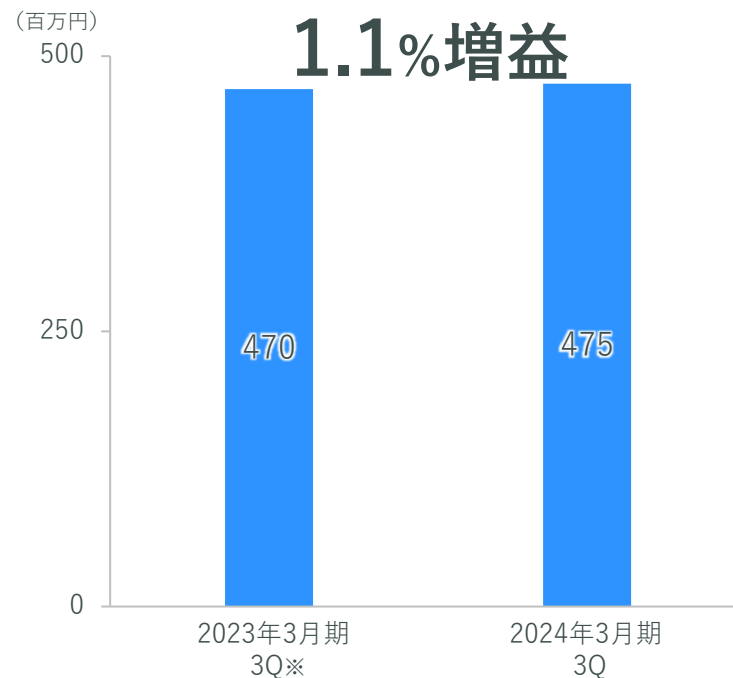
ICT システム運用

- 既存事業の単価見直しとKyriosの受注拡大により増収増益

売上高



営業利益



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値

セグメント別業績推移

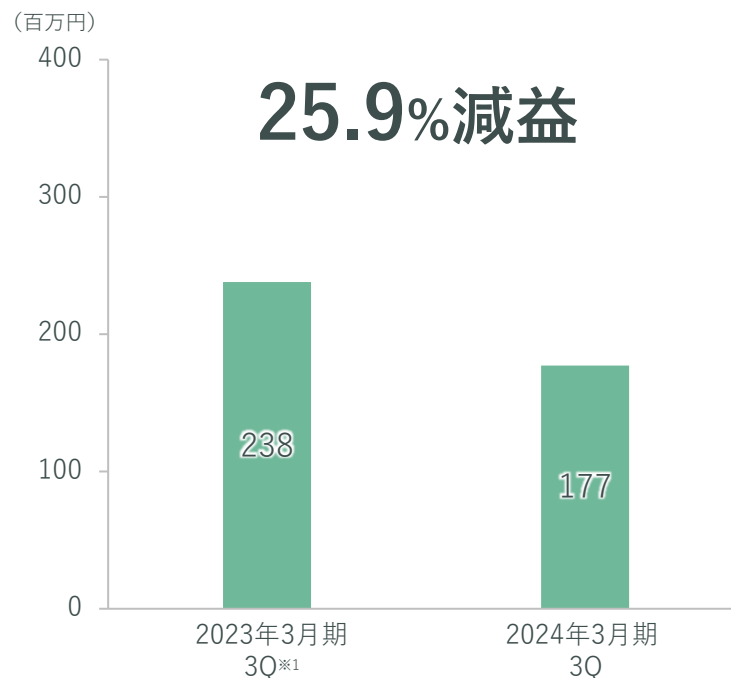
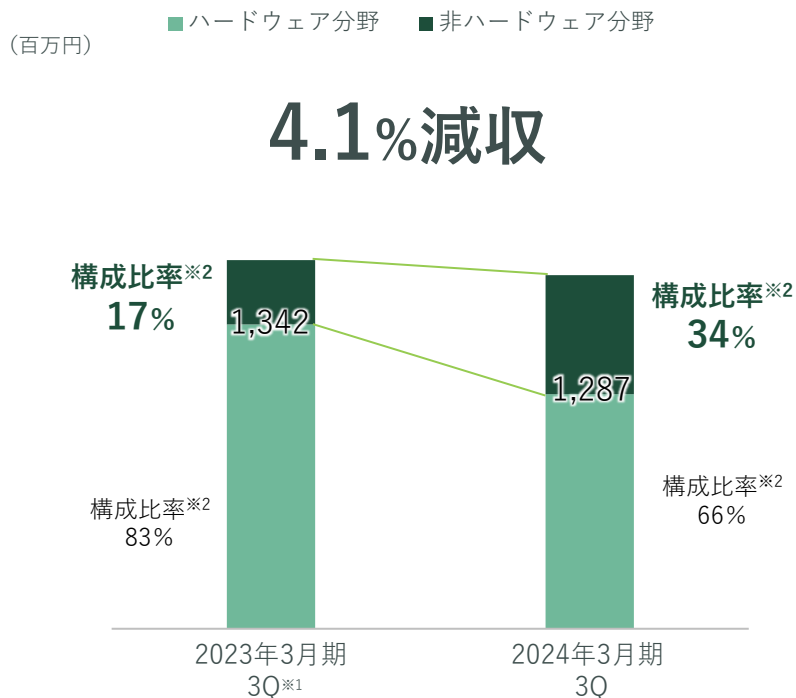


ライフサイエンス

- 昨年度までのスポット案件特需の剥落により減収減益
- 一方で非ハードウェア分野（ライフサイエンスICT分野と薬機法コンサルティング）は拡大

売上高

営業利益



※12024年3月期より新事業セグメントへ変更のため、2023年3月期2Qの数値は参考値

※2セグメント売上高に占める製品属性別の構成比率

セグメント別業績推移

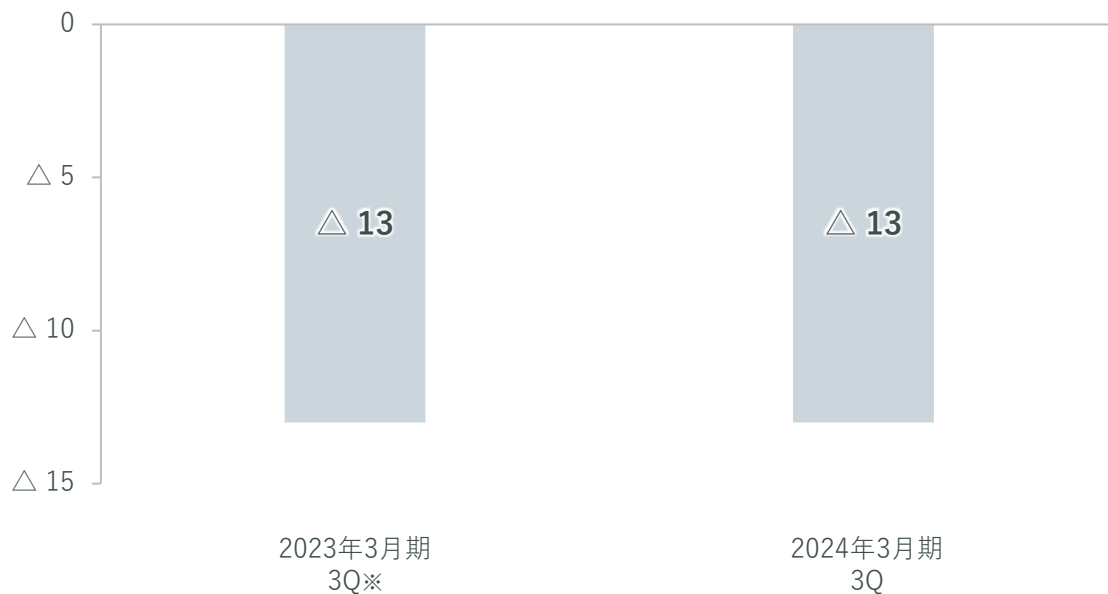


その他（海外事業）

- グローバルIT人財マッチングサービス「Reinforce HR」の提供等

営業利益

(百万円)



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値



各事業セグメント売上高



セキュリティ、DX開発、システム構築が増収をけん引

		2023年3月期	2024年3月期			
		第3四半期	第3四半期		通期	
(単位：百万円)		※実績【連結】	実績【単体】	前年同期比 (%)	業績予想【単体】	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	438	411	93.8%	550	74.8%
	セキュリティ	383	514	134.3%	665	77.4%
	DX開発	200	364	182.0%	326	111.8%
ICT	システム構築	910	1,122	123.3%	1,393	80.6%
	システム運用	2,172	2,265	104.3%	3,093	73.3%
ライフサイエンス		1,342	1,287	95.9%	1,723	74.7%
その他		—	0	—	0	—
合計		5,447	5,967	109.6%	7,750	77.0%

※2024年3月期より、新事業セグメントへ変更及び単体財務諸表へ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値



各事業セグメント営業利益



システム構築は受注環境が整い増益、ライフサイエンスはスポット案件特需剥落による減益

		2023年3月期	2024年3月期			
		第3四半期	第3四半期		通期	
(単位：百万円)		※実績【連結】	実績【単体】	前年同期比 (%)	業績予想【単体】	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	132	102	77.3%	162	63.2%
	セキュリティ	△25	25	—	0	—
	DX開発	△28	△37	—	△52	—
ICT	システム構築	127	194	152.1%	320	60.7%
	システム運用	470	475	101.1%	600	79.3%
ライフサイエンス		238	177	74.1%	270	65.6%
その他		△13	△13	—	△17	—
本社費		△540	△511	—	△733	—
合計		362	412	114.0%	550	75.1%

※2024年3月期より、新事業セグメントへ変更及び単体財務諸表へ変更のため、2023年3月期3Qの数値は参考値



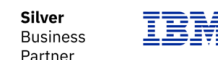
III. 参考資料



会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	栃木、東京(本社)、大阪、福岡、愛知
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・三田) ・ 関西事業所テクニカルセンター (大阪・吹田)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	435名 (2023年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所スタンダード 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー IBM Partner Plus Tier Silver Microsoft Cloud Platform Gold コンピテンシー Google Cloud Partner SoftBank AI エコシステム・パートナー LINE 公式パートナー



沿革



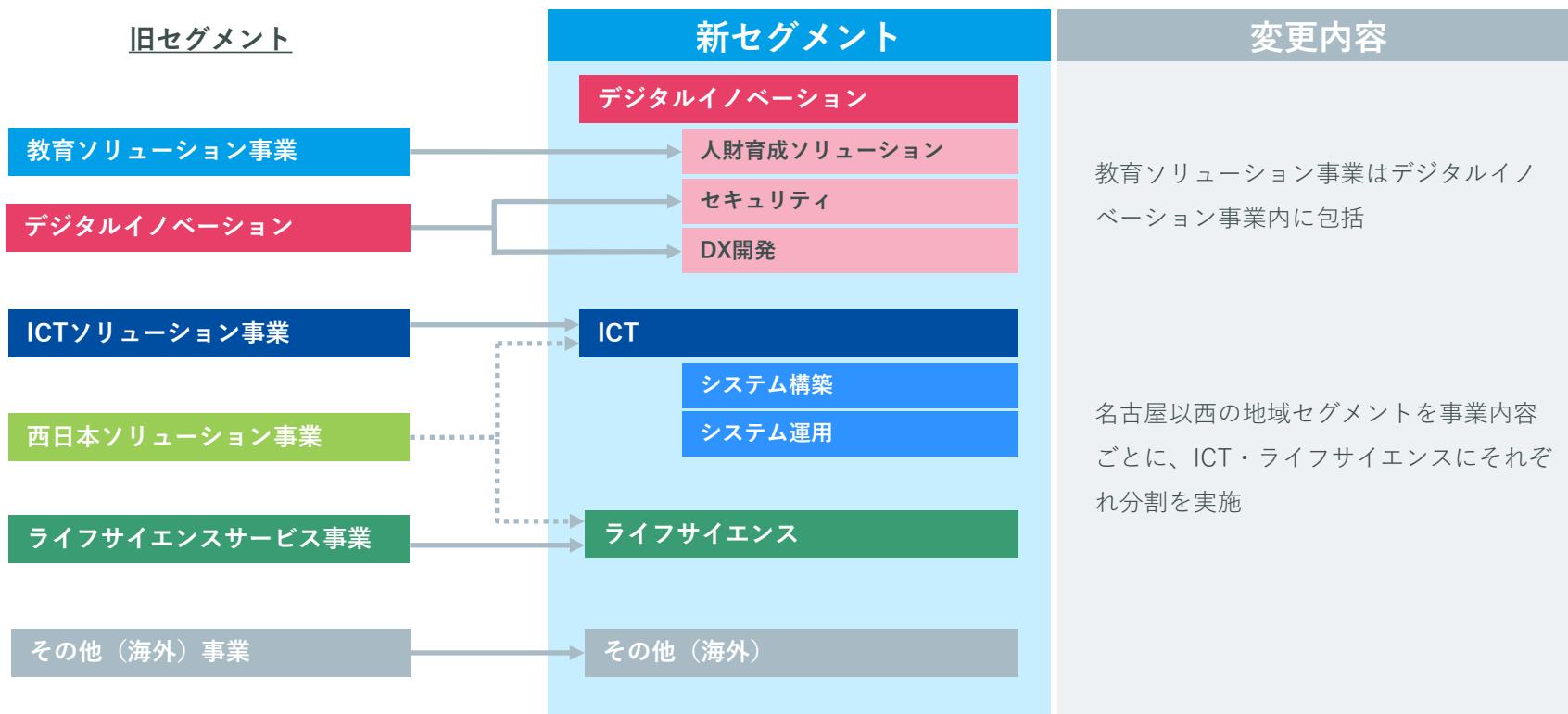
1987年	10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年	4月	本社にトレーニングセンターを設置、教育事業に進出
1994年	7月	東京テクニカルセンターを設置（現：東京テクニカルラボセンター）
1994年	11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年	3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年	6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年	8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年	1月	放射能プレミアムドックセンターを開設
2012年	10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年	6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年	11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年	1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年	11月	JTPインテグレーションセンターを開設
2017年	6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年	4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年	5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
2020年	12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年	4月	社名を「JTP株式会社」に変更



事業セグメント変更



知恵を集約化し顧客ニーズに対応するためFY23より4つの事業セグメントへ変更

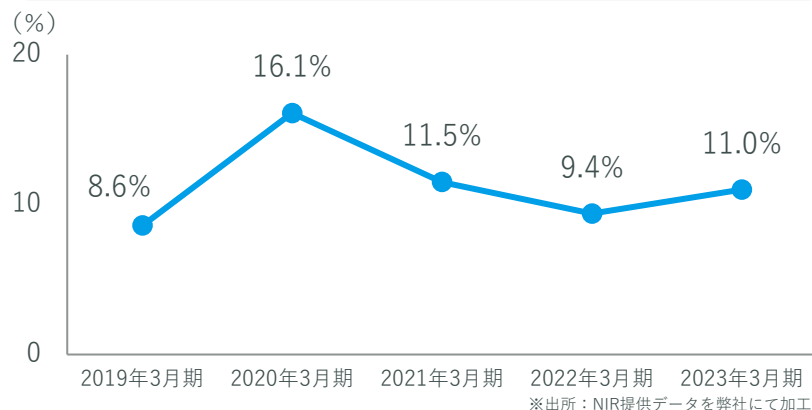


過去5期指標推移

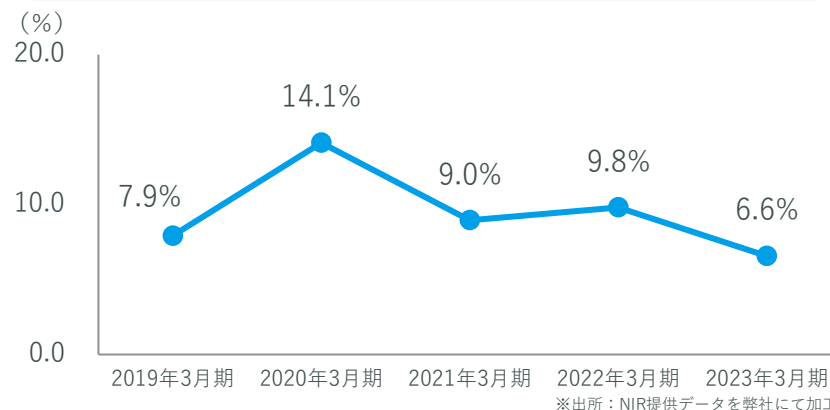


直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。今後もこの水準を維持していく方針

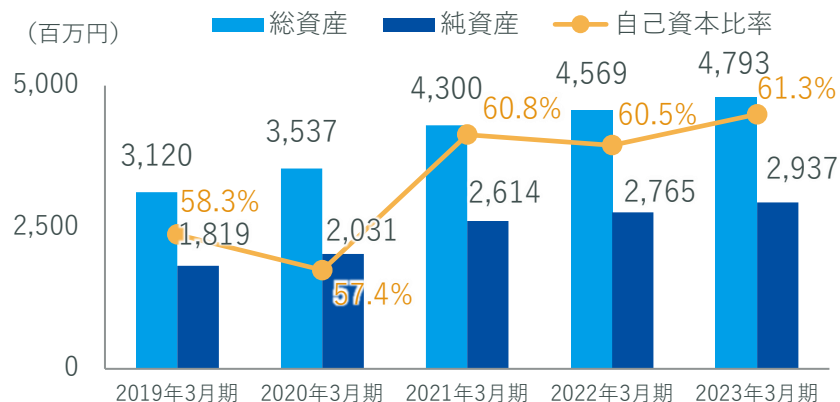
ROE（自己資本利益率）



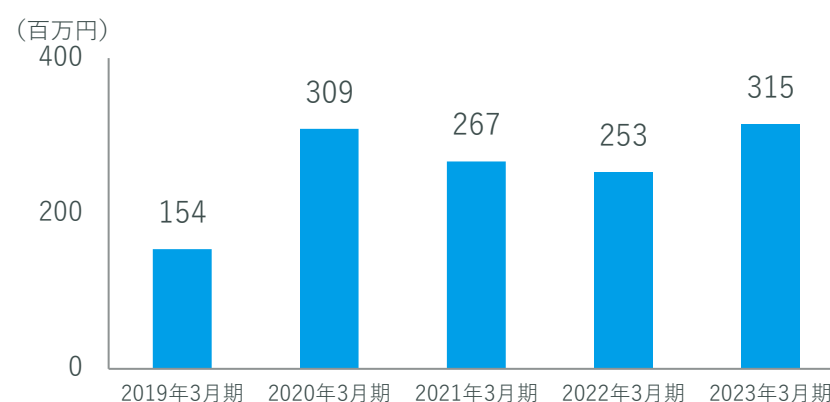
ROA（総資産利益率）



総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益



ストック型・フロー型ビジネス



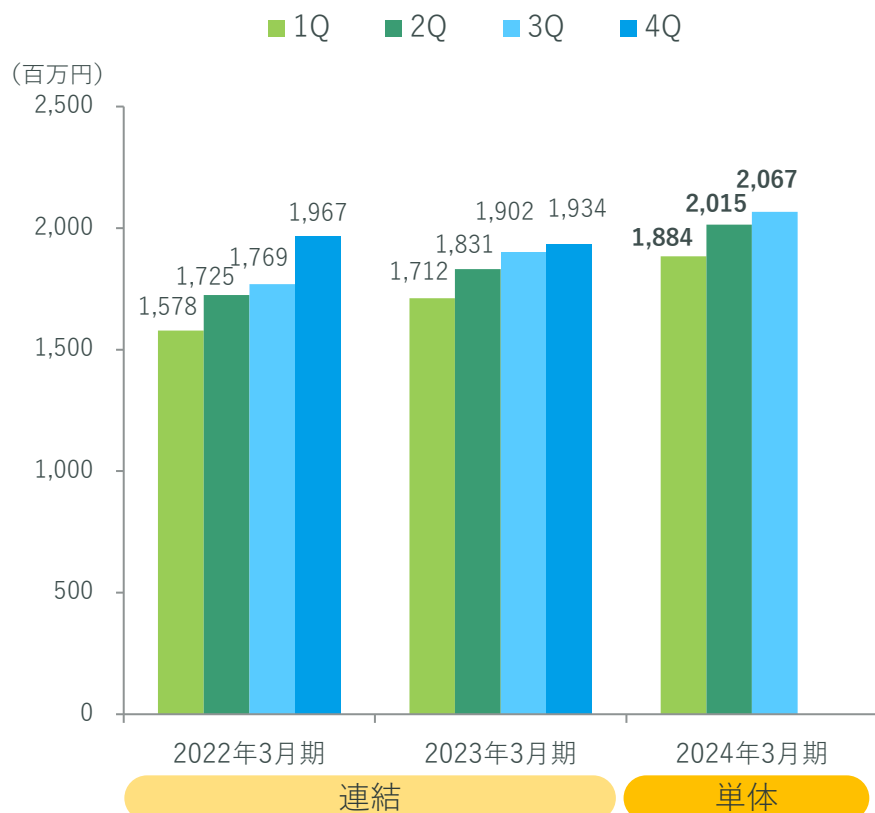
セグメント別ビジネスモデルの売上状況

		2023年3月期 第3四半期累計		2024年3月期 第3四半期累計		ストックビジネスの定義
		売上構成比		売上構成比		
		ストック	フロー	ストック	フロー	
(単位：%)						
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	65%	35%	67%	33%	自社サービス (GAIT/Learning Booster) と一部アウトソー シング契約
	セキュリティ	100%	0%	100%	0%	内部脅威対策関連サービス
	DX開発	88%	12%	100%	0%	ThirdAI関連サービス
ICT	システム構築	8%	92%	11%	89%	一部期間固定契約
	システム運用	96%	4%	100%	0%	ICTシステムの常駐運用サー ビス、 Kyriosサービス
ライフサイエンス		5%	95%	1%	99%	医療ICTの一部直接契約
その他		0%	0%	0%	0%	

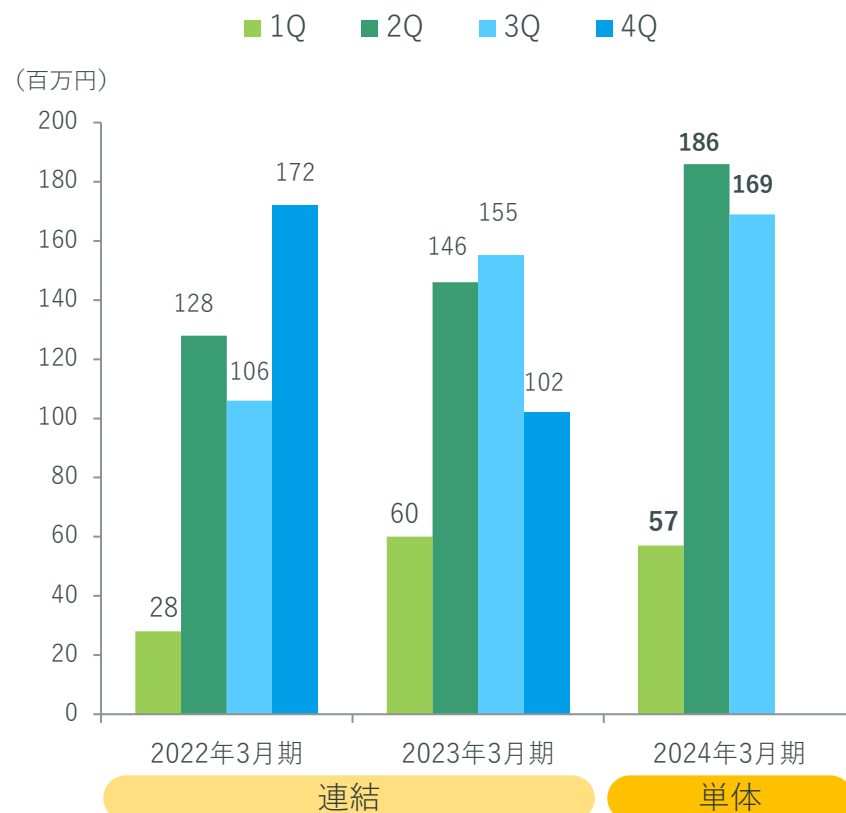
四半期別売上高・営業利益推移



売上高



営業利益



※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



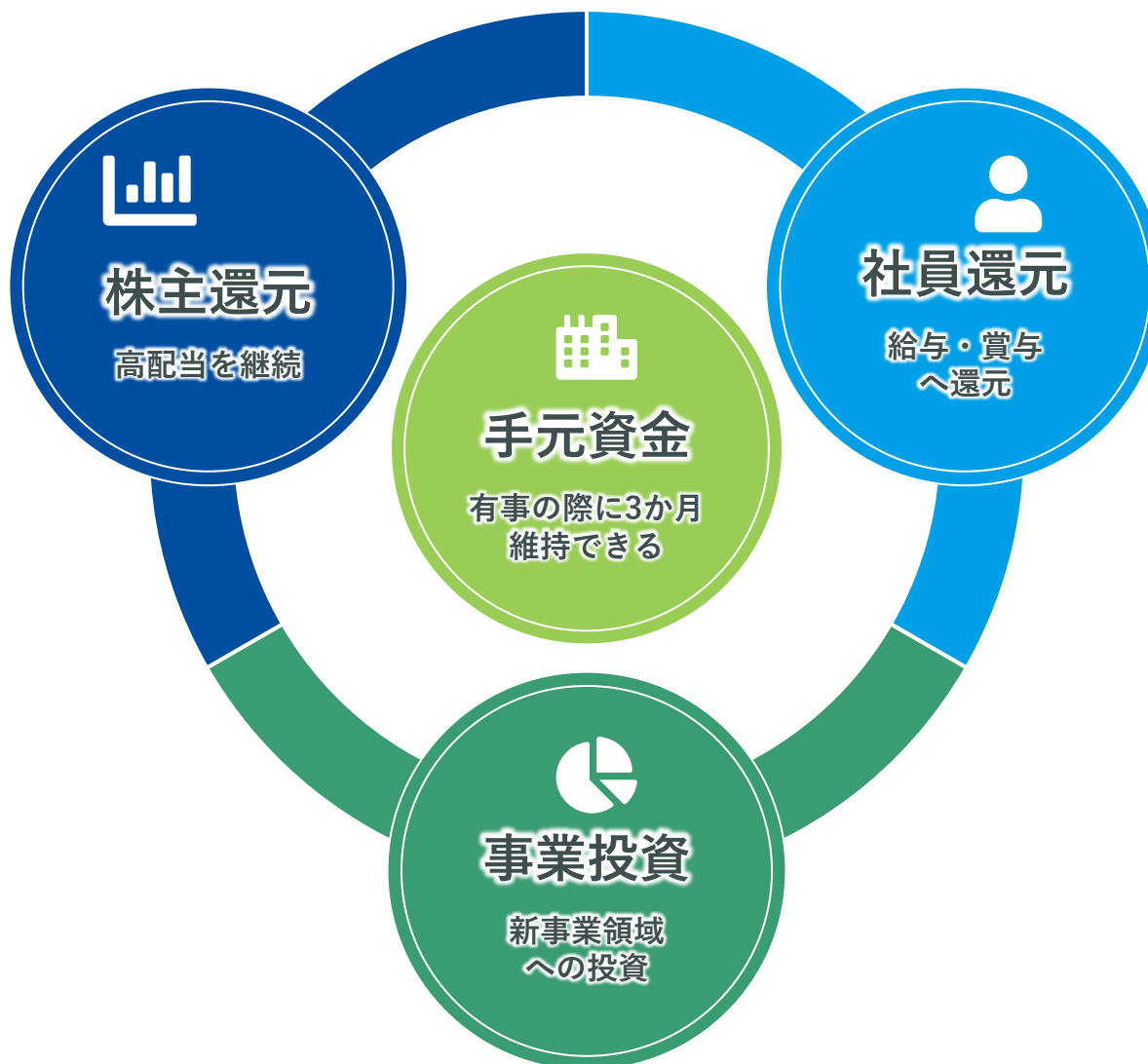
財務データ推移



(単位：百万円)

	2013/03	2014/03	2015/03	2016/03	2017/03	2018/03	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
売上高	4,597	4,708	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310	7,040	7,381
売上原価・ 営業原価	3,894	3,955	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197	5,818	6,046
売上総利益	702	753	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112	1,221	1,335
販売費及び 一般管理費	644	672	582	587	707	749	824	775	761	785	870
営業利益	57	81	177	237	195	251	238	470	351	435	464
経常利益	58	89	191	234	136	258	247	483	382	470	476
当期純利益	1	14	90	81	3	184	154	309	267	253	315

財務戦略（再掲）



Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.